久米　現在はほとんどの場所でサンゴの被度が20%を下回っています。主な原因は1998年の高水温による白化現象と考えられています。また、2003年以降に渡名喜島や久米島でオニヒトデが大発生し、これらの影響からか十分な回復はみられていません。

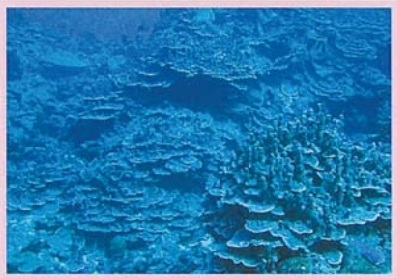
慶良間　沖縄全域で大きな影響を与えたといわれる1998年の高水温の影響はここ慶良間では小さく、サンゴ礁は良好な状態でした。現在は、2001年以降のオニヒトデや台風による波浪、サンゴの病気などの影響で被度が低くなった場所が少なくありません

伊江・伊是名・伊平屋　沖縄島周辺と同様、ほとんどの場所でサンゴの被度が20%を下回っています。主な原因は1998年と2001年の白化現象、2000年前後のオニヒトデ大発生の影響が大きいと考えられています。それでも各島には、小さなサンゴ群体が数多く記録されるなど、回復の兆しがみられる場所もあります。

沖縄　市街のひろがる沖縄島周辺のサンゴ礁は、現在ほとんどの場所でサンゴの被度が20%を下回っています。近年の被度の低下の主な原因は1998年の高水温による白化現象と考えられていますが、その後も十分な回復がすすんでいないのは、2001年の白化現象とオニヒトデの影響が大きいと考えられています。

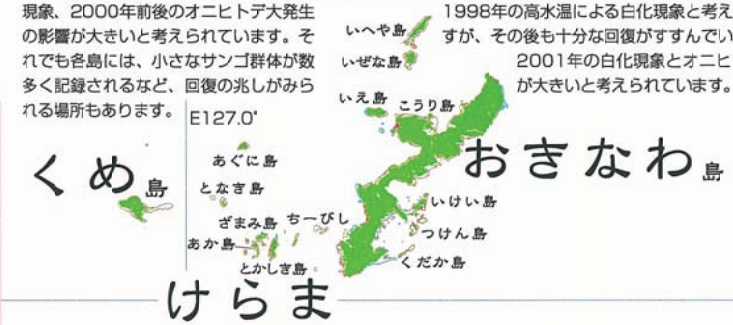
沖縄　全般にサンゴの被度は低い沖縄島周辺ですが、南部の海岸一帯や北部東岸、本部半島の西岸などでは被度70%に達するほどまでに回復したサンゴ礁がみられます。ただし、宮古や八重山でみられるような直径2mを超えるようなテーブル状のサンゴは未だ多くはありません。

多良間　宮古島周辺と同様、2005年にオニヒトデの大発生が確認され、特に多良間島の南岸でサンゴの被度は激減しました。多良間島や水納島の両島西岸ではまだ被度が特に高い場所もある一方で、全般によく調べられていない海域でもあります。



N26.0°

E127.0°



サンゴが いるところ

広大な海に散らばる島々を、せいぜい幅数kmで縁取っているのが、沖縄のサンゴ礁なのです。それでも各島で、島のなかでも各海岸でサンゴ礁の状況は違います。

スポットチェック SpotCheck

スノーケリングを用いて調査員2名が15分間の観察を実施します。範囲およそ50m²のおおまかなサンゴ被度を記録するほか、サンゴの白化の程度や小型・大型のミドリイシ、オニヒトデやサンゴ食巻貝、大きな魚や海底の様子なども記録します。

（参考URL:www.biodic.go.jp/moni1000/manual）

八重干瀬　宮古島の北に位置する広大な離礁群である八重干瀬（やびじ）では、それまでサンゴが特に高い被度で広がっていました。しかし、宮古島周辺と同様2005年にオニヒトデの大発生が確認され、全域で被度は激減しました。現在までオニヒトデの発生は続いており、今後の回復が心配されています。

◆分布の状況は刻一刻と変化しています。

広く散らばる沖縄の島々で今のサンゴ礁を正確に知ることはたやすいことではありません。なるべく最近の情報をもとにサンゴの分布の様子を実際の地図に示しました。分布の様子は一般的に用いられる指標であるサンゴ被度を元にしています。サンゴ被度というのは、海底をサンゴが覆う面積の割合（%）のことで、この地図では良いを桃線■（50%以上）、普通を紺線■（20-50%以上）、悪いを茶線■（20%以下）、そして不明を灰線■で示しています。（参考：沖縄県自然保護課、環境省国際サンゴ礁研究モニタリングセンター、リーフチェックジャパン、各地の皆さんなどより）

西表　石垣島と同様、2007年にオニヒトデの大発生が鳩間島南岸で確認されました。この前後の年には連続する台風の直撃がサンゴに大きな影響を与え、これまで特別良好であった場所でも被度が激減しています。サンゴの種の多様性も特に高いことから、今後の変化に注目が集まります。

石垣　石垣島周辺全域でサンゴは特に良好な状態で保たれ、直径2mを超えるようなテーブル状のサンゴも珍しくありません。しかし、宮古のオニヒトデ大発生から2年後の2007年に石垣島の南北両岸で大発生が確認され、この前後の年の台風直撃もあり、被度の大幅な低下が報告されています。

宮古　下地島の南や大神島・池間島周辺などでは、サンゴは高い被度が保たれ、種も多様で特に良好です。ただし、宮古島や下地島の西岸では被度が長らく低いままであったり、2005年にはオニヒトデの大発生が宮古島の南岸で確認され、激減した場所も多く今後の変化が心配されています。

リーフチェック ReefCheck

サンゴ礁の状況を調査したデータを世界中から集めて分析し、サンゴ礁の健全度やそれに与える要因を探るための調査で、スキューバーダイビングにより実施します。100mの測線上を50cmおきにサンゴの分布を記録したり、周辺にいるイセエビやハタなど決められた魚類や甲殻類、貝類などの数も数えます。

（参考URL：www.reefcheck.jp）

IYOR 2008　沖縄県文化環境部自然保護課　(財)沖縄県環境科学センター　(有)三浦クリエイティブ